



学校通信

みなみ

伊勢崎市立南小学校
第13号
令和6年10月2日(水)

全国学力・学習状況調査の結果について

4月18日(木)に実施した全国学力・学習状況調査は、全国の小学校6年生と中学校3年生を対象として行われたもので、小学校の内容は国語、算数と児童の生活・学習状況に関するアンケート(児童質問紙)でした。6年生には既に調査結果を配付しましたが、本校でよくできたところ、あまりできなかったところを具体的な問題とともにお示ししますので、ご覧いただければと思います。

●全国と比べてよくできたところ【国語】

【原さんの読書の記録】

日付	題名	日付	題名
4/18 - 4/19	大奥いさんどタン	4/21 - 4/22	葉の王子さま
4/27 - 4/28	「おこがましい」の歌ではん		

1 読書を通して、学校図書館や地いきの図書館の利用の方法を知ることができたと気づいた。

2 読書を通して、科学的な事実について、疑問に思ったことを調べて解決できたと気づいた。

3 読書を通して、自分が文章を書くときに役に立つ書き方を学ぶことができたと気づいた。

4 読書を通して、自分の心にひびく言葉や今までになかった考えを見つけることができたと気づいた。

四 原さんの学校では、日ごころから読んだ本を記録しています。次は、「原さんの読書の記録」で、原さんは自分の記録を読み返し、気づいたこととして最も適切なものとして、下の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

原さんの読書の記録を読んで、4月のふり返りの所の□に入るものとして、適切なものを選ぶ問題。
全国正答率を5ポイント程度上回っています。

示してある3枚の読書記録を読んで、総括としてふさわしいものが選べるかが問われています。
ここでは、3枚の読書記録をしっかり読んでいけば、原さんが作品中の言葉や作品から考えさせられたものが主なものだということがわかります。
答え 4

●全国と比べてよくできたところ【算数】

こうたさんは、桜の開花日について興味をもちました。桜の開花日とは、各地で基準となっている桜の木で5～6輪以上の花が開いた状態となった最初の日のことです。

(1) 全国各地の観測地のデータを調べたところ、地域によって桜の開花日がちがうことがわかりました。

下の円グラフは、2023年の開花日について、月別に整理し、その割合を表したものです。

開花日の月別の割合 (2023年)

「4月」の割合は、全体の何%ですか。答えを書きましょう。

円グラフの4月の割合を答える問題。
全国正答率を10ポイント程度上回っています。

円グラフの目盛りが読めるかが問われている問題。誤答の多くは、メモリの数え間違いで、15や17と答えていたり、4月の線がある73や89と答えていたりしています。

答え 16

●全国も本校もあまりできなかったところ【国語】

〔条件〕
○「たてわり遊び」のよさについて考えたことを書くこと。
○「高山さんの取材メモ」の下級生に聞いたことから言葉や文を取り上げて書くこと。
六十文字以上、百字以内にとめて書くこと。

【高山さんの文章】

みんな仲良し「たてわりはん」
わたしたちの学校には、1年生から6年生までのメンバーが、同じはんで活動する「たてわりはん」の取り組みがあります。「運動会」や「たてわり遊び」を通して、ちがう学年の人も仲良くなります。

「運動会」は、「たてわりはん」ごとに赤、青、黄の色を決め、3色対こうで行います。上級生が下級生に応えんん仕方を教えた。下級生も楽しめるように、きょうぎの作戦を考えたりします。「みんなでつな引きをして楽しい」という2年生や、「下級生といっしょに応えんんして熱い気持ちになる」という5年生がいます。このように、「運動会」のよいところは、みんなの心が一つになるところだと思います。

「たてわり遊び」は、毎月1回、休み時間に「たてわりはん」で遊ぶ活動です。みんなが楽しめるように、6年生が、遊びたいことを下級生に聞いたり、ルールをくふうしたりします。例えば、ドッジボールでは、上級生が遠くからボールをいけるようにしています。

【高山さんの取材メモ】

「たてわり遊び」について
6年生がくふうしていること
○遊びたいことを下級生に聞く
○ルールをくふうする
ドッジボール 上級生は遠くからボールをいける
下級生に聞いたこと
○1年生 お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった
○3年生 好きな遊びや新しい友達が増えた
○4年生 みんなが楽しそうであれしかった

二 高山さんは、次の「高山さんの文章」の考えた「たてわり遊び」のよさを書こうとしています。あなただが高山さんなら、どの条件にのわけて書きましよう。

左に示してある条件を踏まえて、高山さんの文章の続きを60字以上100字以内で書く問題。
全国正答率を15ポイント程度下回っています。

運動会についての記述があるので、これを参考にします。「たてわり遊び」の前段は既に書いてあるので、□の中には、下級生に聞いたことを運動会の記述を参考にして書き始めます。このことは本校の子どもたちもできていたようです。しかし、文章の結びとなる、「このように『たてわり遊び』のよいところは、・・・」を書ける子が少なかったようです。・・・の部分、自分で考えて適当な表現を作ることが求められるので、難しかったのだと思います。

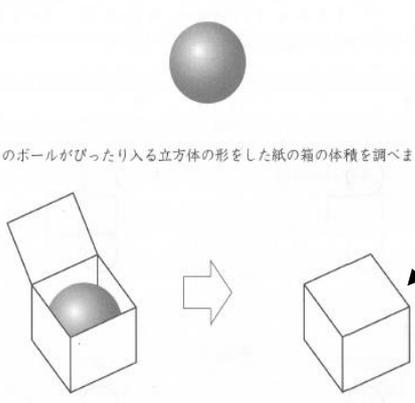
（正答例）「お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった」という1年生や、「みんなが楽しそうであれしかった」という4年生がいます。このように、「たてわり遊び」のよいところは、学年をこえた交流ができるところだと思います。（100字）

<授業に活かすポイント>

自分の考えが伝わるように文章を書くために、事実と感想や意見とを区別して書くなど、書き表し方を工夫することを意識づけていきます。

●全国も本校もあまりできなかったところ【算数】

3) 直径22cmの球の形をしたボールがあります。



このボールがぴったり入る立方体の形をした紙の箱の体積を調べます。

この立方体の形をした紙の箱の体積が何cm³かを求める式を書きましよう。ただし、紙の厚さは考えないものとします。また、計算の答えを書く必要はありません。

示されたボールがぴったり入る箱の体積を求める問題。
全国正答率を15ポイント程度下回っています。

右下の図のような箱の体積を求める問題です。立方体の体積を求めればよいのですが、最初に球が描かれているため、誤答の多くは、式の中に3.14を使っていたようです。立方体の一辺が、球の直径になることに気付いてほしい問題です。

答え $22 \times 22 \times 22$

<授業に活かすポイント>

問われていることは何かを捉え、その問いに答えるために、何が分かればよいかを筋道立てて考える力をつけていきます。